

日米共同演習粉碎・入会地奪還 11.15北富士闘争を貫徹

三里塚・ジェット闘争貫徹 / 「国鉄35万人体制」粉碎!



11・15集会には、母の会、入会組合、新屋永小作権連盟をはじめ、三里塚反対同盟など、秋晴れの澄みきった空の下に全国から43団体一二八〇名が結集し、動労千葉からも、各支部・青年部代表40名が参加し、共に闘いぬいた。

青空にくっきりと浮かびあがった富士の雄大な姿を正面に、演壇には「農民踏み殺し何が国民を守る自衛隊か」と大きな横断幕がかかげられ闘いの決意を示す母の会のほりが林立する。

集会は、忍草母の会事務局長天野さんの司会で開会され、沖繩、反軍、立川、各地区実行委員会、労組など、緊迫する事態を聞いてかけつけた多くの人士からの連連のあいさつを受け、特別報告として、三里塚反対同盟と動労千葉が立ち闘いの報告と決意を表明した。

反対同盟北原事務局長は、「来年3月の決戦は、三里塚16年の全てがかかった決戦である。二期工事を真に打ち破る全人民の重大な総反撃をは

11月15日、北富士梨ヶ原において、入会地永久強奪・日米共同演習断固粉碎北富士全国総決起集会が開催された。

日米共同演習をめぐる事態は緊迫している。十月には、東富士演習場において日米共同通信訓練・米第三海兵師団による実弾演習がおこなわれ、来年二月には、米軍五百人、自衛隊千人が参加するといわれている指揮・幕僚訓練、そして来年四月以降の日米共同陸軍大軍事演習へと向って着々と準備がおこなわれているのである。

日本帝国主義は、日中15年戦争において、朝鮮、

「富士を朝鮮・中東へつなぐな!」

「満州」、中国全土へ侵略し、南京大虐殺、三光作戦をはじめ悪虐非道のかぎりをつくし、五千万人のアジア人民を虐殺した「帝国陸軍」をふたたびつくりあげようと狙っているのだ。

忍草母の会の闘いに対しては、右翼国粋会による襲撃があいついでいる。しかも断じて許せぬことと、10月18日には、自衛隊が右翼を廠舎内に導き入れ、そこから入会小屋に武装襲撃をかけるという、まさに自衛隊・右翼が一体となった攻撃がおこなわれているのである。母の会は、これを完全に粉碎・撃退して闘いぬいている。

11・15集会には、母の会、入会組合、新屋永小作権連盟をはじめ、三里塚反対同盟など、秋晴れの澄みきった空の下に全国から43団体一二八〇名が結集し、動労千葉からも、各支部・青年部代表40名が参加し、共に闘いぬいた。

青空にくっきりと浮かびあがった富士の雄大な姿を正面に、演壇には「農民踏み殺し何が国民を守る自衛隊か」と大きな横断幕がかかげられ闘いの決意を示す母の会のほりが林立する。

集会は、忍草母の会事務局長天野さんの司会で開会され、沖繩、反軍、立川、各地区実行委員会、労組など、緊迫する事態を聞いてかけつけた多くの人士からの連連のあいさつを受け、特別報告として、三里塚反対同盟と動労千葉が立ち闘いの報告と決意を表明した。

反対同盟北原事務局長は、「来年3月の決戦は、三里塚16年の全てがかかった決戦である。二期工事を真に打ち破る全人民の重大な総反撃をは

始めよう。反対同盟は、用地内を先頭にその最先頭で闘い抜く」と固い決意が述べられ、会場全体から、われるような拍手で確認された。

動労千葉からは片岡教宣部長が立ち、戦後36年にも亘る不屈の闘いを続ける北富士の仲間への敬意を表したのち、「動労千葉は過日の第6回定期大会で、三里塚―北富士を結ぶ闘いを労働運動の基軸にすえた闘いの方針を決定しました。北富士闘争に学び、われわれが闘い抜いた81・3の歴史のストライキの地平を堅持し、第二、第三の81・3実力闘争を爆発させることを誓います」と力強いアピールを發した。

母の会からの集会基調報告は「富士での日米共同演習の本格化、大規模化を許すか否かは、日本の軍事大国化・植民地帝国化を許すか否かの国民的なたたかしの重要な一環であり、その最先頭に位置するたたかいてある。

富士を侵略の砲火でけがすな!
富士を朝鮮・中東につなぐな!
富士をふたたび軍国日本のシンボルにしてはならない」と全

参加者に訴えた。

機動隊・右翼一体の弾圧うち破って、市内デモ貫徹!

忍草入会組合から提起された「集会宣言」は「忍草の入会地奪還・日米共同演習粉碎のたたかいは文字どおり、生か死か、寸分の妥協の余地もないギリギリのたたかいはである。ゲリラはもろんありとあらゆる抵抗を展開して共同演習を粉碎する。」と戦後36年にわたる長き闘いの決着をもとめて更に闘いぬく決意をうたいあげた。

集会後に、忍草母の会を先頭に機動隊の大弾圧体制および数10台の装甲車やジープなどで結集した右翼国粋会の襲撃策動を粉碎して意気高く富士吉田市内をデモンストレーションし、闘いの決意を示した。



忍草農民を先頭に富士吉田市内デモ

訂正とおわび
本紙第八九六号(11月16日付)記事「錦糸町駅構内事故」の日付が誤って記載されました。正しくは「11月12日」ですので訂正します。